ねんきんだより Pensions News

年金相談会のご案内

太田年金事務所では、館林市役所を会場として、国民年金保険料の納付および免除などの相談会を開催しています。相談は事前予約が必要です。各開催日の１週間前から予約受付を開始しますので、下記予約申込先までご連絡ください。太田年金事務所までお越しいただくことが難しいかたなど、この機会をぜひご利用ください。

開催日　９月15日(木)、10月20日(木)、12月15日(木)、令和５年１月19日(木)、２月16日(木)、３月16日(木)
時間　午前10時～午後３時
場所　館林市役所
予約申込　館林市役所保険年金課給付年金係 ☎７２－４１１１
※定員になりしだい受付終了

○休日開庁日のご案内

太田年金事務所では国民年金課窓口において休日開庁を行い、国民年金保険料の納付相談などを承っております。平日は忙しくてなかなか相談に行けないというかたは、ぜひ休日開庁日をご利用ください。実際の開庁日についてはお電話にてご確認ください。

期日　毎月第２土曜日
時間　午前９時～午後４時
場所　太田年金事務所

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

置き配トラブルに注意！

【事例１】

ネット通販で商品を注文し、数日前に置き配での配達完了メールを受信したが、商品は届いていない。添付されていた玄関の写真も自分の家のものではなかった。
（70歳代 女性）

【事例２】

ネット通販で商品を注文し、置き配を希望したつもりはないのに、玄関前に置かれたようで、配達された写真をサイトで確認した。
しかし、数時間放置されていたため、盗まれてしまったのか、商品を受け取れていない。
（70歳代 男性）

【ひとこと助言】

玄関先などの指定した場所に置くことで配達を完了する「置き配」は、コロナ禍において、ネット通販を中心に、急速に普及していますが、誤配や盗難などのリスクもあります。メリットとデメリットを理解して利用しましょう。
ネット通販で商品を注文する際、初期設定が置き配になっている場合があります。意図せず置き配を選択していないか、注文前に十分確認しましょう。
置き配を利用する場合は、注文前に利用規約をよく読み、誤配や盗難などのリスクを理解し、トラブルの際の補償、連絡先を把握しておきましょう。
宅配業者からの配達完了通知などで到着を確認したら、早めに引取りましょう。置き配用の宅配ボックスや宅配バッグなどを利用するのも良いでしょう。
困ったときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
８月７日（日）	黛泌尿器科内科医院 ６３－７８００	うえの医院 ７２－３３３０	館林医院 ７４－２１１２	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
８月11日（祝）	ハートクリニック ７１－８８１０	藤原医院 ８８－７７９７	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
８月14日（日）	横田胃腸科内科 ７２－４９７０	長谷川クリニック ８０－３３１１	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
８月21日（日）	竹越医院 ８４－３１３７	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	高木整形外科 ６２－６６１１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
８月28日（日）	三浦医院 ６２－２９１７	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
９月４日（日）	館林記念病院 ７２－３１５５	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
９月11日（日）	みづほクリニック ２０－１１２２	堀越医院 ７３－４１５１	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
９月18日（日）	田沼内科医院 ８８－７５２２	横田医院 ７２－０２５５	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。　●高木整形外科は、午前中のみの診察となります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

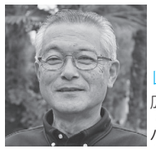
子どものサッカーの応援から審判資格を取得

挑戦を続けることで環境は変えられると信じて

荒井香織さん

あらい　かおり
大字海老瀬在住

子どもたちが大人になったら、得意の料理や小物づくりの趣味を楽しみつつ、人との縁を大切に、今までの経験を生かして地域に貢献していきたいとのことです。



レポーター
広報編集委員
小林（こばやし）　登（のぼる）

サッカー経験なしから審判資格

男児４人の子育て奮闘中の荒井さんは、お子さんのサッカーの応援から、いつの間にかサッカーの審判の資格を取得してしまいました。応援では、ついプレーでのマイナスの評価をしがちです。子どもと同じ目線で共に成長しなければと、サッカー経験なしにも関わらず３級審判員の資格とＤ級指導者資格を取得し、一番近い位置でサッカーに参加するようになりました。審判はその迫力を感じるだけで無く、公平公正な判断という責任もあり、応援とは異なるものがあるといいます。

これまでも多くの挑戦

これまでもさまざまなことに挑戦してきた荒井さん。子どもたちにつられて習い始めた空手は、自らが有段者となる腕前に。パン作りをしてみたいと思えばパンシェルジュ１級という資格を取得してしまいます。
亡き母の影響で続ける手芸では、革や布製のバッグや小物などを知人のお店で販売できるほどの腕前です。母の介護をきっかけに、介護や認知症の対応などを理解しようと認知症実践者研修を終了し、現在お勤めの施設で生かされています。さらに介護福祉士の資格取得に挑戦するそうです。

つきない興味

コロナ前にホームステイの受け入れをした経験などから、国際交流にも興味を寄せる荒井さん。「これまで家族や、たくさんのかたの温かいアドバイスやサポートが背中を押してくれました。これからも年齢・性別・国籍などを理由にやってみたいことを諦めずに挑戦していければ、少しずつ環境は変えられると思います。そして一歩一歩成長していけたらいいと考えています。」

人の立場に立てる人間に

子どもたちには、一方的なものの見方をするようになってほしくない、その人の立場に立てるようになってほしいと思っているそうです。この母の背中を見て育った子どもたちは、きっといろんなことに興味を持ち、チャレンジしていける人間になっていくのではないかと感じました。